

会 議 録

会議の名称	令和4年度 第5回西東京市環境審議会
開催日時	令和5年3月29日(水) 午後6時から
開催場所	西東京市役所田無庁舎5階 503会議室
出席者	【委員】 松本委員、国眼委員、山縣委員、赤司委員、大上委員、高木委員、村田委員、泰江委員 【事務局】 白井みどり環境部長、中澤環境保全課長、一之瀬係長、三城主査、鹿島主査 【傍聴人】 0名 【欠席者】 矢守委員、大黒委員
議 題	1 開会 2 議事 (1) 第4回西東京市環境審議会会議録(案)の確認について (2) 第3次西東京市環境基本計画体系案について (3) 令和3年度西東京市環境白書・環境活動レポートについて (4) その他 3 閉会
会議資料の名称	資料1 第4回西東京市環境審議会会議録(案) 資料2 令和3年度西東京市環境白書・環境活動レポート
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<1 開会> ○会 長： 議題に入る前に、前回の委員からの質問に対して、事務局より説明をお願いします。 ○事務局： 「第4回環境審議会における資料2-4に対する質問の回答」をご覧ください。資料2-3「施策事業進捗状況確認票【第5章】にある施策と資料2-4「施策事業進捗状況確認票【環境基本計画巻末 資料2 計画に関連する主な事務事業】」は重複しているのか、完全に独立しているのか、という質問をいただき後日回答とした。回答として、「資料2 計画に関連する主な事務事業」は、後期計画策定当時に基本方針に関連した主な事務事業を各課にあげてもらい、記載しているものである。それに対して、資料2-3「施策事業進捗状況確認表【第5章】」は後期計画の施策に基づき、資料2にあげる主な事務事業、策定後に加わった取組を含め、現在各課が取り組んでいる事業を記載しているものになる。説明は以上。 ○委 員： 今のご回答は前回説明された内容と同じで、それについては納得した。宿	

題は、この 2 つの資料が性格的に同じであるならば、なぜ整理している軸が違うのか、ということだったはずである。

- 事務局： 資料 2-4 の主な事務事業は、当時に各課で具体的に「～事業」として名前があったものをあげている。もう一つの資料 2-3 は、事業という大きなくくりではなく、計画に書いてあるいろいろな取組に符合するもの、つまり「～事業」として名称があるものと、実際に各課で行っている活動が符合するものをあげている。あとは、具体的に計画に書いてある個々の取組を軸にして、書いてある取組と各課が行っている業務が一致するものを並べており、実際に重なる部分もあるということである。
- 委員： 非常に多項目の意見が表の中に並んでおり、自治体それぞれに数値目標が決まっているとしたら、自治体は何ができるのか、それによって効果がどうなるのかという整理をするときに枠がおおよそ決まっているのではないか、という意見だった。最終的に何にどうつながるのが理解できなかったため、その筋道が見たかっただけである。

<2 議事>

(1) 第4回西東京市環境審議会会議録(案)の確認について

- 会長： 第4回西東京市環境審議会会議録(案)について事務局より説明をお願いします。
- 委員： 会議録の7ページに「ここで10年の計画を立てるわけである。大変なのに1つの会社に任せてよいのか。」とあるが、このような発言はしたつもりはない。
- 委員： この発言をしたのは私だと思う。消していただいて大丈夫である。
- 事務局： 今ご指摘をいただいたため、会議録の録音をしたものを再度確認したいと思う。後日、確認していただきたい。
- 会長： 修正対応をお願いします。

(2) 第3次西東京市環境基本計画体系案について

- 会長： 第3次西東京市環境基本計画体系案について、事務局より説明をお願いします。
- (事務局より、第3次西東京市環境基本計画体系案について説明)
- 会長： 事務局からの説明に対し、意見や質問等はあるか。ある方は挙手でお願いします。今説明いただいたように、基本方針は1～5、次の方針を1～4に整理と統合を行っていくという方向性でよろしいか。ゼロカーボンシティの実現に向けて取り組む、資源が循環する社会に向けて取り組む、地域の良好な環境を次世代に残す、という大きな項目は基本計画の中に大きく出てく

るといふことか。あと、太文字のところをもう少し分かりやすく表現したほうがいいと思った。最後にこれらをまとめて今後の審議会の中で、基本方針を4つにまとめていく話や、太文字部分の表現方法を修正する話をしていくことでよろしいか。

- 事務局： これはたたき台のような原稿案のため、今回も意見をいただいて修正をし、ブラッシュアップをしていきたいと考えている。
- 会長： つまり、気候変動対策や資源循環、地域環境、人づくり参画協働分野の4つに分けるところだけは、ある程度合意をしていた方がいいということか。副題や本題のような残りの部分については、どういった言葉が分かりやすいか議論の中で進めていくため、今日が決定版ではないということによろしいか。
- 委員： 10年間の計画という認識である。
- 事務局： そうである。そのため、この計画が10年間引き継がれることになる。
- 会長： 10年後の人にとっても分かりやすい言葉で作っておく必要がある。現状、分野分けは5つだが、これから4つにしていくという方向性について、ご意見をいただければと思うが、いかがか。
- 委員： 西東京市の3次計画では、アンケートをとってそれを生かして策定しているのだと思うが、西東京市がゼロカーボンシティを宣言していることを認識している人はどれくらいいるのか。ゼロカーボンという言葉はある程度知られていると思うのだが。
- 事務局： 西東京市がゼロカーボンシティを宣言しているのを知っているか、という聞き方ではなく、ゼロカーボンという言葉を知っているか、という聞き方をしている。「よく知っている」と回答した人は13%、「詳しくは知らないが、だいたいの意味は分かる」が44%、「意味は知らないが聞いたことはある」が17%、「知らない」が23%という結果となっている。
- 委員： ゼロカーボンシティを宣言していることをこれからもっとPRしていくべきだと思う。そのような、もっと知ってほしいことを施策に生かしていき、例えば基本方針1の中で工夫をしてもいいと思う。
- 事務局： 計画書の中ではゼロカーボンシティ宣言を記載させていただくので、計画ができた段階で市民の方に知っていただこうと考えている。その中で文言は注意していきたいと考えている。
- 会長： ゼロカーボンシティ戦略の1つとして、認知度アップなどが入ってくるかもしれない。その他いかがか。
- 委員： 基本方針1の基本施策で、低炭素社会実現に向けたまちづくりの推進のところがオレンジ色の点になっているが、これは削除されたということなのか、どこかに含まれたということなのか。

- 事務局：それが新しい計画のゼロカーボンに向けた取組の推進に含まれていくのだが、点やYになっているのは誤植である。中身的には現行の計画で4つの基本施策があるが、それらは重複している部分があるので、緩和策という形でもう少し整理させていただいた。
- 委員：基本的に2次計画の基本施策のそれぞれの中身は、行く場所が変わっても引き継がれていく、つまり前のことが捨てられたのではなく、次に生かされているという話か。
- 委員：このような計画は、未来を作っていく若い人たちへのメッセージやアピールという意味で、文言が重要だと思っている。基本方針4で横断的に人づくりを行うことは良いと思っており、「みどり・生きもの・ひと、環境未来像2050」はそれっぽさを感じるため、「ひと」を前に持って行った方が、それっぽさを感じにくくなるのでは。
- 委員：基本方針3を基本方針1に持っていくということである。ゼロカーボンは環境をよくするための1つの手段だということである。
- 会長：環境未来像2050を目指すために基本方針はあるが、どうしても順番として1番から見ると、重要なものを1番に持っていくといいのではないか。順番を変えることで問題は発生するか。
- 事務局：今の皆さんの議論によると、基本方針3は上位のものと捉えられる表現になっているため、調整したい。
- 委員：「持続可能なまち」となっているが、現状維持さえすればいいわけではなく、維持しながら開発していくという意味だと思う。
- 事務局：現状維持というより次世代の子どもたちに繋がるような、よりよくなるイメージで作っている。
- 委員：持続可能という言葉だけで、そこまでイメージできないのではないか。
- 事務局：こちら現状維持ではないと考えているため、文言も調整したい。
- 会長：どういう表現にするかという意見も出してもらいながら、方針を決めていこう。
- 委員：「まち」にとって持続可能というのは人がいることだと思っている。2050年までに地球環境や化学の発展などでいろいろなことが変わっていく中で、外的要因の影響を受けずに続けられるのは人だと思うため、一番上位に人づくりを置いて、そこを基本方針の根幹にするとこれから話が進めやすくなると思う。
- 会長：確かに（仮）という表現で、基本方針4は横断的になっているが、言葉の順番や流れも考えていく必要がある。体系案はこのような形で進めていき、今後の議論の中で良い言葉があったら採用して、とりまとめていくという方向性にする。他はいかがか。

- 委員： 子どもが分かるような言葉で体系図ができれば、子どもが主体的に動くための動機づけになると思う。審議会や委員会と連携して、体系図も分かりやすく示していただくと、子どもたちは何に心がければいいか、今やっていることがこの先どうつながるか分からずとも、続けていくことが大切なのだと分かるようになり、大人になっても続けていくと思う。私も以前、小学校の教員をやっているときに分別という概念はなかったが、今当たり前になっているのは、小さい頃からの取組によるものだと思うため、体系図も子供向けバージョンで作られると良いと思う。
- 会長： 大人が見ても分かりやすく、子どもが見ても将来が想像しやすいような体系図ができればいい。長いスパンで見て議論していければと思う。
- 委員： 「環境未来像2050みどり・生きもの・ひと 多様な環」という言葉はすごく分かりやすく、子どもたちに受け入れられる言葉だと思うが、その次の基本方針1 ゼロカーボンシティというのは分かりにくいと思う。会社に新しい人が入ってきたときに、分かりやすい表現でないと意識を植え付けていくのは難しいが、維持していくためには、新しいことを伝えたり同じことを繰り返し伝えることが大事だと思うため、やはり分かりやすいということは重要である。例えば西東京市にタワーマンションができて、外からたくさんの方が流入してきたときに、新しい人たちにとっても分かりやすい言葉で作られた計画にしたい。どういう言葉にすればいいか具体的なことは分からないが、皆さんの意見を聞いて私も言葉の使い方を考えていきたいと思った。
- 委員： コロナ禍で外国人を多く受け入れるようになり、外国人と接する機会が多くなったが、そういう時に「西東京といえば美しい安全な街」という言葉がすぐに出てくるような街づくりが大事ではないか。それがおそらく西東京市に人が集まってくることや、ゼロカーボンにも繋がってくると思うが、私たちにとっては当たり前すぎて、生活していく中で「西東京市は美しく安全な街で、健康で快適な暮らしができるよね」という会話はしていない。持続可能といっても今の幸せを感じるものが少ないから、それを続けていこうというモチベーションにもならず過ぎていることが多いと思うため、「今西東京市は素晴らしく、さらにゼロカーボンにも取り組んでいる」という認識が市民にも広まってくるといいと思う。基本方針などが市民の会話に出てくるまで浸透すれば、10年後にも繋がると思った。
- 会長： その他いかがか。
- 委員： 目標を2050年にするのは遠すぎないか。
- 事務局： 国が掲げているゼロカーボンの目標が2050年であり、それを1つの目安に設定させていただいている。

- 委員： 第3次計画が10年計画のため、例えば2033年を一つの目標とするのはいかがか。
- 会長： 国連の2050年の目標に向けて10年間どうするかということである。よろしいか。では、太文字のところは今後議論していくとして、基本方針を4つの分野に分けていくという方針で行く。

(3) 令和3年度西東京市環境白書・環境活動レポートについて

- 会長： それでは次の議題、令和3年度西東京市環境白書・環境活動レポートについて、事務局より説明をお願いします。
(事務局より、令和3年度西東京市環境白書・環境活動レポートについて説明)
- 会長： 事務局からの説明に対し、意見や質問等ある方は挙手をお願いします。
- 委員： 会議でたくさんの紙を使うと見やすく良いが、今の時代に会社はパソコンを持ち込んで行っているため、この会議は傍聴もされていることを考えると、先々プロジェクターで行うなどの方向性を見出していかなければならない。
- 事務局： すぐに実践はできないが、将来的にはタブレットなどで進めていきたいと思う。
- 会長： このレポートも昔はすべて冊子で作っていたが、基本的にホームページにてPDFで配布するようにして冊子を少なくした、という経緯がある。他いかがか。
- 委員： 第3次環境基本計画体系案というものを一言で表すとどうか。今までの2次計画と違う点はどこか。
- 事務局： 環境未来像のところが大きく変わって、そこがスローガンであると思っている。「みどり・生きもの・ひと 多様な環」というのを前面に出していきたいと考えている。
- 会長： それでは(3) 令和3年度西東京市環境白書・環境活動レポートについては終了とする。

(4) その他

- 会長： その他事務局からあればお願いします。
- 事務局： 次回の令和5年度の第一回の審議会の日程について報告したい。次回は5月の連休明けと考えている。審議内容は第3次計画の骨子案の検討となる。本日副会長の矢守委員が欠席だが、事前に候補日を確認したところ5月10日の水曜日の都合が良いとお聞きしているが、委員の皆様はいかがか。では、次回の令和5年度の第1回の審議会は5月10日、時間を午後6時、場所は3階の庁議室とする。1週間前を目途に資料の送付をする予定である。

- 会 長： 来年度はどのくらいのペースで行う予定か。
- 事務局： 5月中旬で第1回、次は7月で第2回、8月に第3回、10月に第4回、1月に第5回とする予定である。詳しくは前回の第4回の資料5に、スケジュール案を記載しているため、ご覧いただければと思う。

<4 開会>

- 会 長： それでは、他に何もなければ、本日の議論は以上とする。

以上